

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公開番号】特開2004-246353(P2004-246353A)

【公開日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-034

【出願番号】特願2004-16274(P2004-16274)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

H 05 B 6/14 (2006.01)

H 05 B 6/36 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 101

H 05 B 6/14

H 05 B 6/36 B

H 05 B 6/36 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

導電体に誘導電流が誘起されることにより発熱する誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニットであって、

絶縁被覆のない導線により形成されたコイルと、

前記コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材と、を有することを特徴とする誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

導電性の回転部材と、

絶縁被覆のない導線で形成されたコイル及び該コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材を有するとともに、該コイルに通電して磁界を発生させることにより前記導電性の回転部材に渦電流を誘起する励磁コイルユニットと、を備えることを特徴とする誘導加熱方式の像加熱装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

前記目的を達成するための本発明においては、導電体に誘導電流が誘起されることにより発熱する誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニットであって、絶縁被覆のない導線により形成されたコイルと、前記コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材と、を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

本発明における誘導加熱方式の像加熱装置は、導電性の回転部材と、絶縁被覆のない導線で形成されたコイル及び、該コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材を有し、該コイルに通電して磁界を発生することにより前記導電性の回転部材に渦電流を誘起する励磁コイルユニットと、を備えることを特徴とする。